

こつざい 交差点

昭和石材工業所 代表取締役社長

高瀬 順司



これまでの人生を振り返ると「人とのつながり」が原動力であり続けてきたことに気づきました。その価値を実感したのは奥多摩での暮らしと仕事、そして外部企業での営業経験でした。

奥多摩で工場勤務をしていた頃、自然豊かな環境の中で地域の方々の交流が日常の一部でした。特に消防団活動を通じて、助け合いや支え合いの精神が根付いた地域の文化に触れられました。困難な場面でも、近隣の方々からかけてもらった温かな声や気遣いが、私にとって大きな支えとなりました。こうした日々を通じて「人と人

繋がりが紡ぐ、豊かな世界

がつながることの尊さが、いかにかけがえのないものかを学びました。その後、外部企業に出向して営業職を経験した際には、奥多摩で培った「信頼を大切にする姿勢」や「相手を思いやる気持ち」が、良好な関係を築く大きな助けとなりました。例えば、お客様との会話では、ただ商品を売るのでなく、相手の話に耳を傾け、その背景にある思いを理解することを心がけました。その結果、信頼を得て関係を深めることができました。

現在、私の周りでは異業種の方々の新しいコミュニティも広がっています。その中で刺激を受け新たなアイデアやビジネスチャンスが生まれています。これからは業種や立場を超えた人々が交流し新たな価値を創造できるプラットフォームを築き「人と人がつながることによって生まれる可能性」を信じて行動していきたいと考えています。

人とのつながりは、単なる偶然ではなく、互いを思いやる気持ちや信頼によって築かれるものです。そのつながりが、地域や社会、そして未来をより豊かにしていくと信じています。